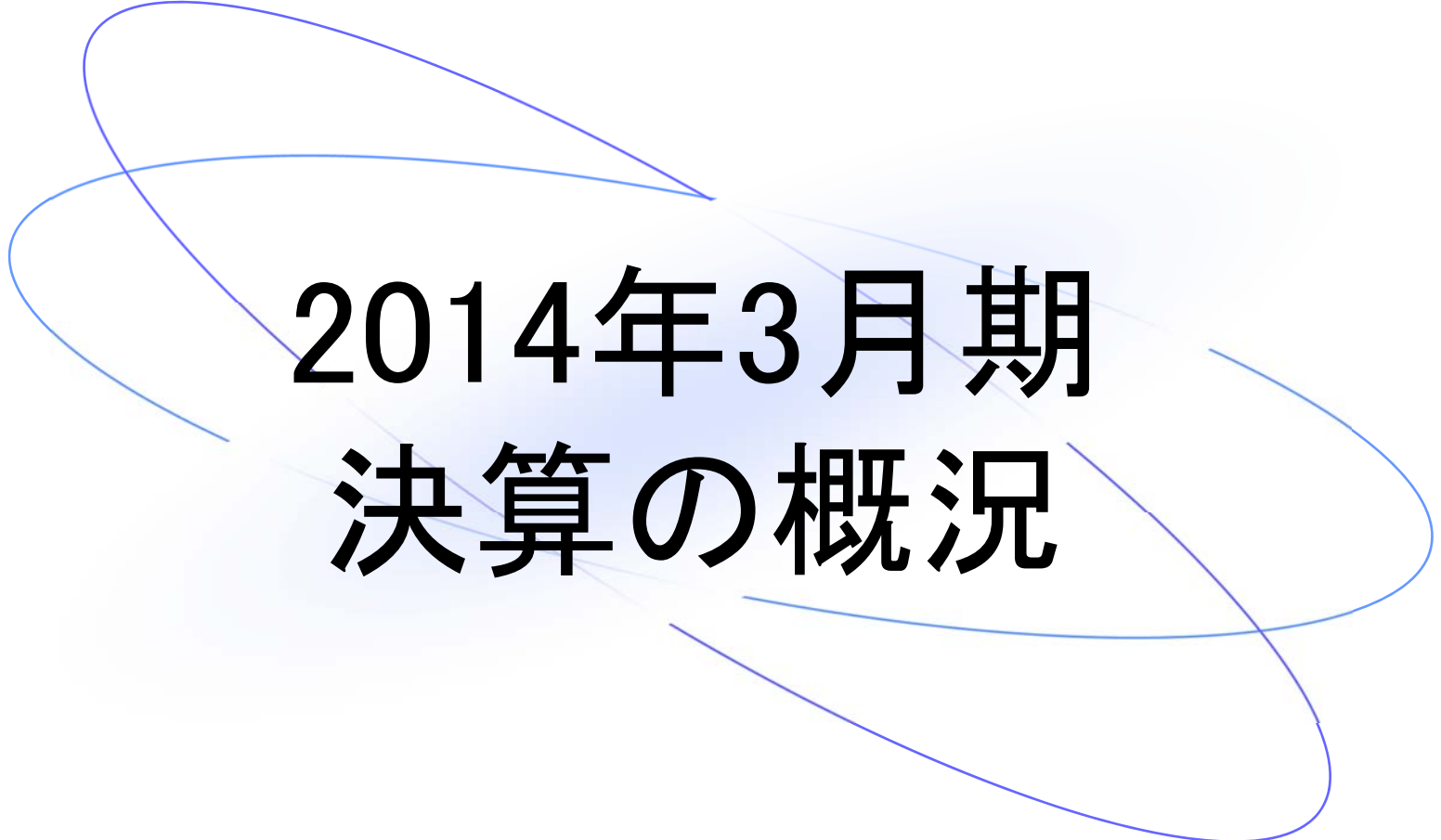


株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2014年3月期決算説明会

2014年5月21日

このプレゼンテーション資料には、2014年5月21日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。

The title is centered on the page and surrounded by several overlapping, hand-drawn style blue scribbles that create a sense of motion or emphasis.

2014年3月期 決算の概況

2014年3月期 連結業績(対従来予想比)

単位:百万円

	従来予想(13年11月12日発表)		14年3月期		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	21,400	100.0	21,083	100.0	▲316	▲1.5
営業利益	4,930	23.0	4,668	22.1	▲261	▲5.3
経常利益	5,130	24.0	4,822	22.9	▲307	▲6.0
当期純利益	3,200	15.0	2,993	14.2	▲206	▲6.4
EPS (円)	104.81	—	98.05	—	▲6.76	▲6.4

2014年3月期 連結業績(対前期比)

単位:百万円

	13年3月期		14年3月期		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	18,130	100.0	21,083	100.0	2,952	16.3
営業利益	3,436	19.0	4,668	22.1	1,231	35.9
経常利益	3,576	19.7	4,822	22.9	1,246	34.9
当期純利益	1,960	10.8	2,993	14.2	1,032	52.7
EPS (円)	64.22	—	98.05	—	33.83	52.7
設備投資額	1,377	—	1,304	—	▲73	▲5.3
減価償却費	1,119	—	1,170	—	50	4.5
研究開発費	1,146	—	1,235	—	89	7.8

2014年3月期 主要グループ会社の業績

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	18,584	15.0	2,792	47.4
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	3,184	15.0	130	21.0
(株) ハーモニック・エイディ	100%	1,887	9.3	54	33.6
※3 ハーモニック・ドライブ・アーゲー (ドイツ)	35%	7,829	23.3	914	▲3.2

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2012/12期:1US\$ = 79.82円 2013/12期:1US\$ = 97.65円

※3 為替レート 2012/12期:1€ = 102.63円 2013/12期:1€ = 129.68円

※4 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

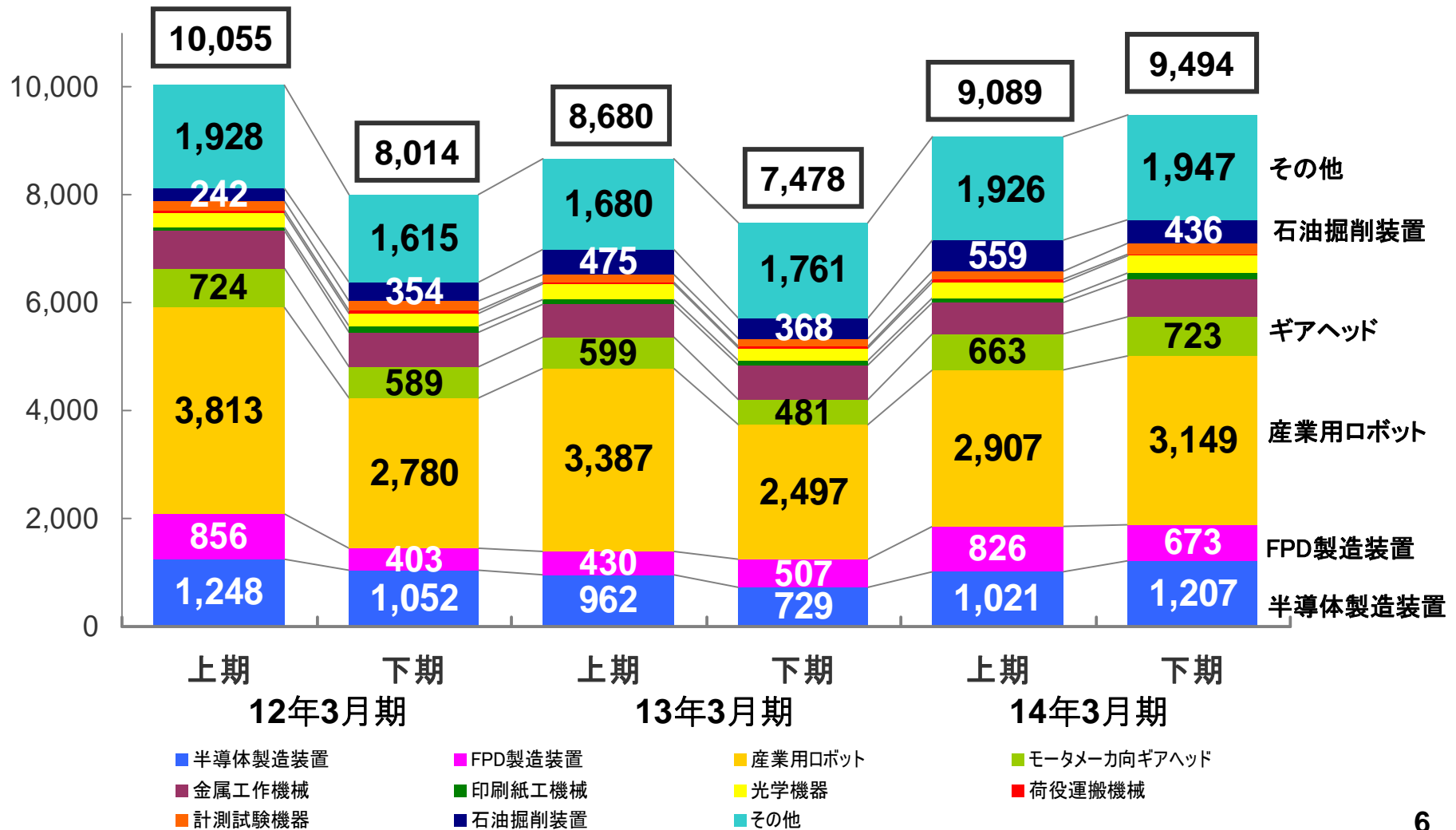
2014年3月期 単体業績(対前期比)

単位:百万円

	13年3月期		14年3月期		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	16,159	100.0	18,584	100.0	2,425	15.0
営業利益	2,955	18.3	4,180	22.5	1,225	41.5
経常利益	3,173	19.6	4,375	23.5	1,202	37.9
当期純利益	1,894	11.7	2,792	15.0	898	47.4
EPS (円)	62.04	—	91.46	—	29.42	47.4
設備投資額	803	—	617	—	▲186	▲23.2
減価償却費	711	—	712	—	0	0.1
研究開発費	1,207	—	1,224	—	17	1.4

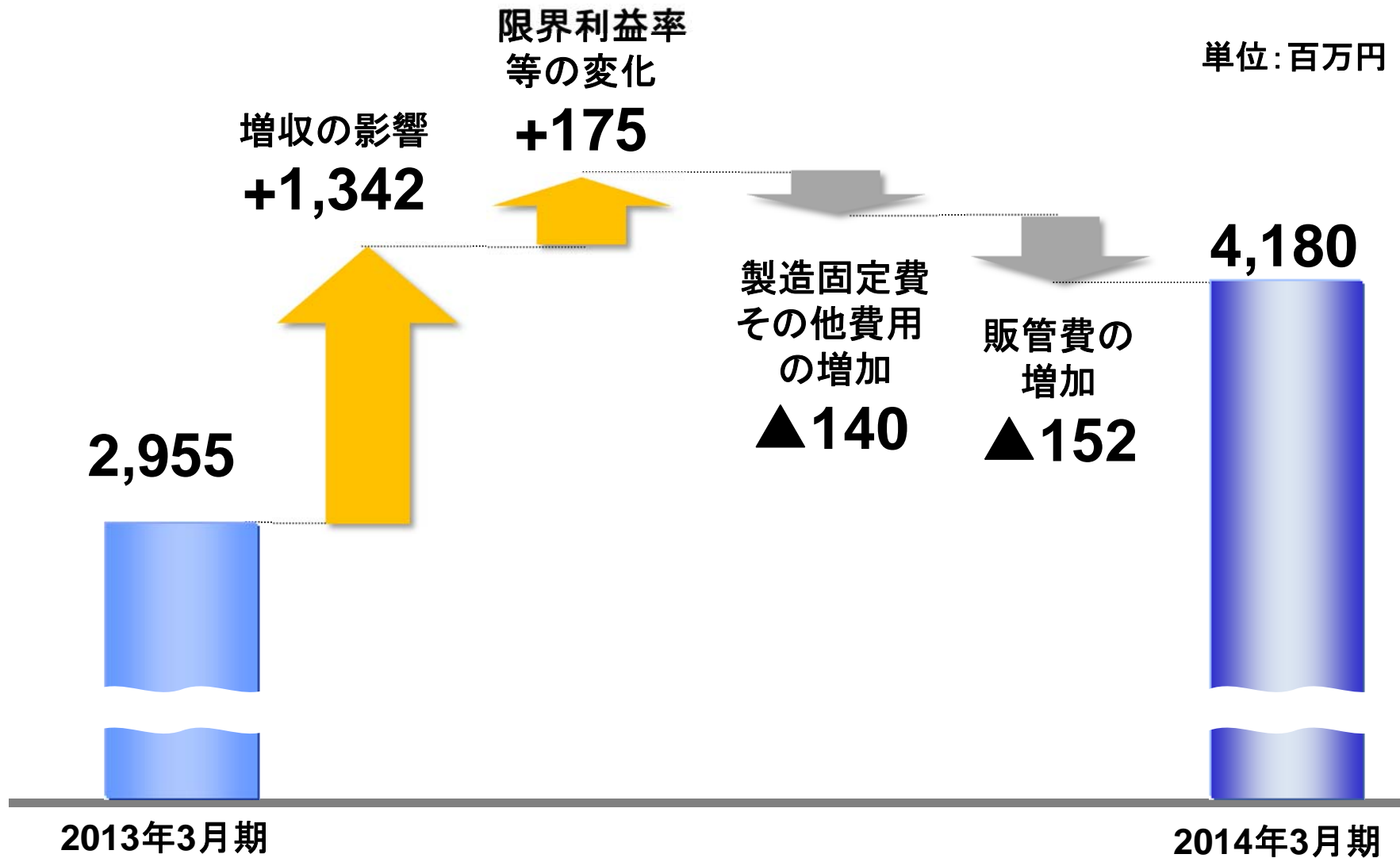
単体用途別売上高

単位:百万円



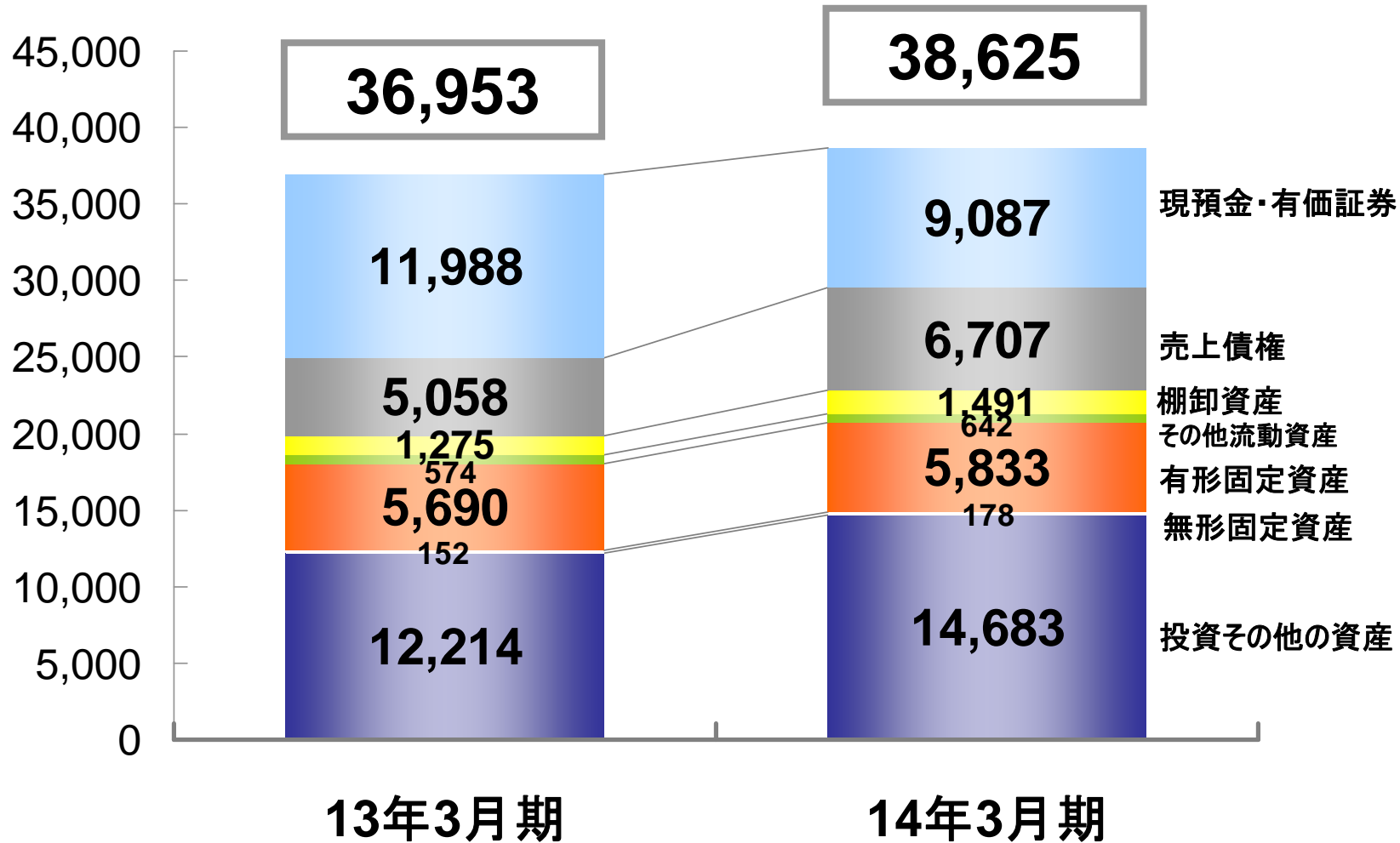
2014年3月期

単体営業利益 対前期比増減要因



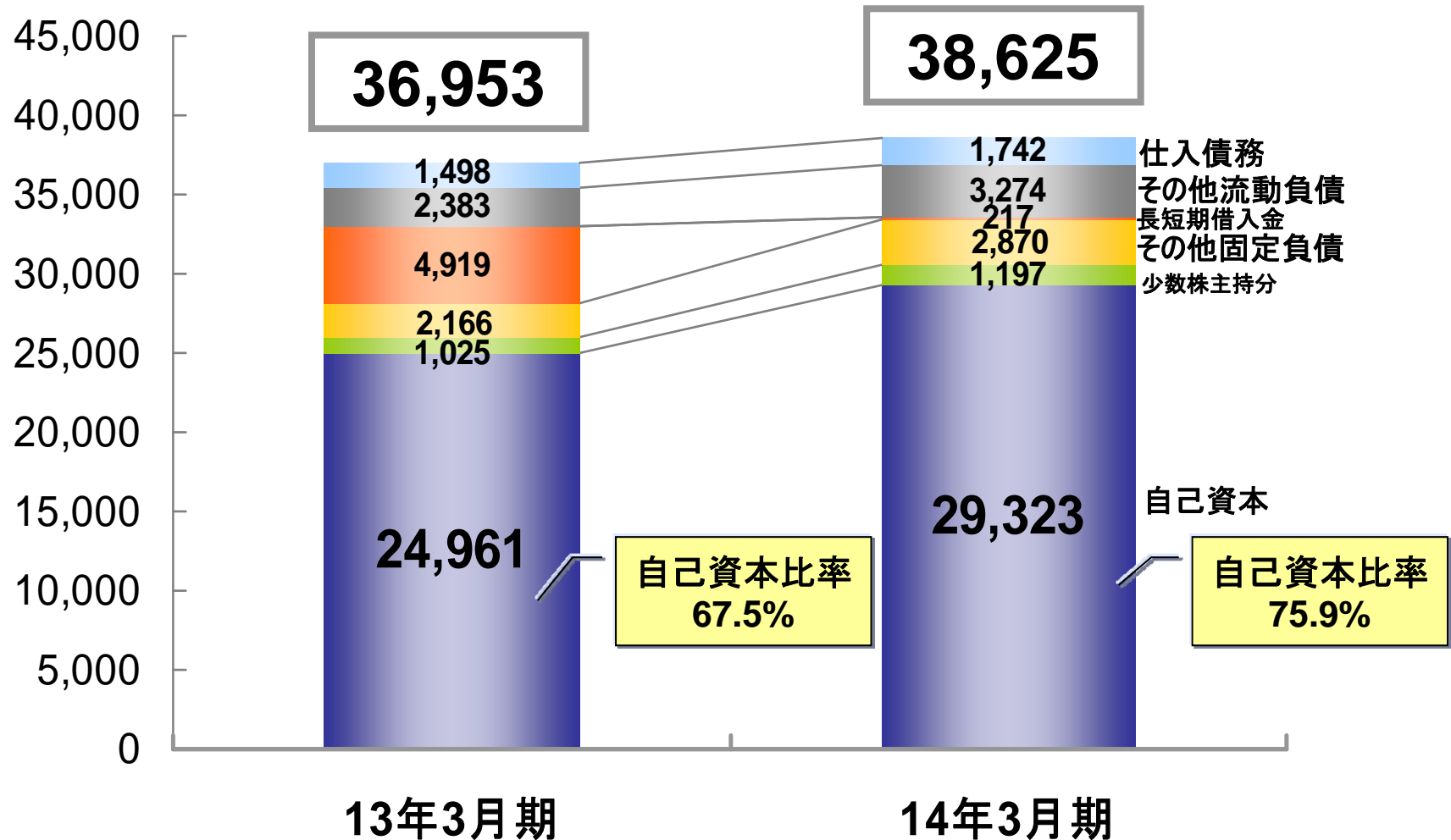
連結資産の状況

単位:百万円



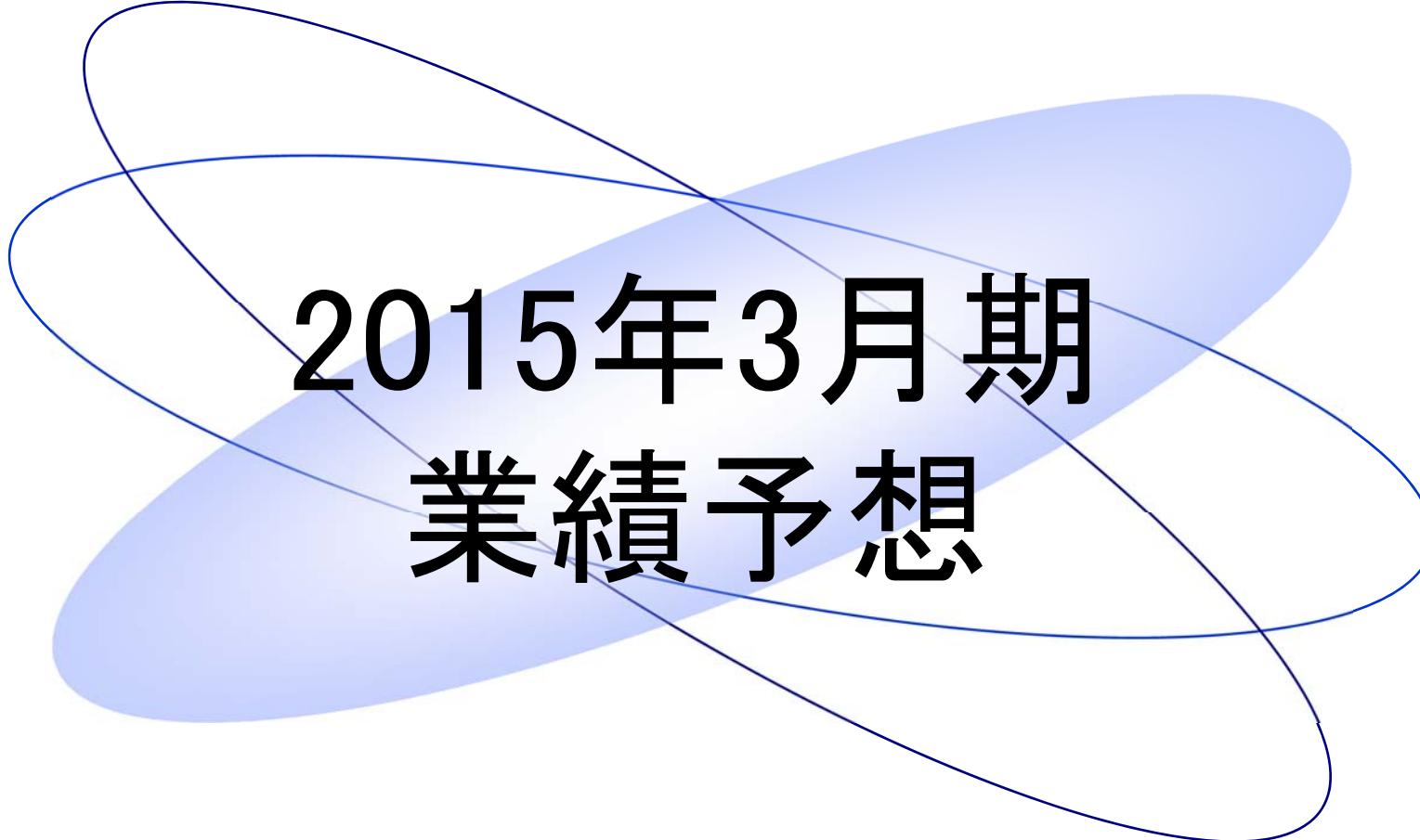
連結負債純資産の状況

単位：百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円	13年3月期	14年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,700	3,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,271	▲ 1,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,545	▲ 5,591
換算差額	107	221
現金及び現金同等物の増(▲減)額	5,533	▲ 2,829
現金及び現金同等物の期末残高	9,713	6,883



2015年3月期 業績予想

2015年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	14年3月期		15年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	21,083	100.0	24,500	100.0	3,416	16.2
営業利益	4,668	22.1	6,400	26.1	1,731	37.1
経常利益	4,822	22.9	6,600	26.9	1,777	36.9
当期純利益	2,993	14.2	4,200	17.1	1,206	40.3
EPS(円)	98.05	—	137.56	—	39.51	40.3
設備投資額	1,304	—	1,670	—	365	28.0
減価償却費	1,170	—	1,200	—	29	2.5
研究開発費	1,235	—	1,350	—	114	9.3

※15年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥100.00 1€ = ¥135.00

12

2015年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	前期比 (%)	金額	前期比 (%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	21,800	17.3	3,880	38.9
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	3,300	3.6	150	14.9
(株) ハーモニック・エイディ	100%	2,100	11.2	60	9.3
※3 ハーモニック・ドライブ・アーゲー (ドイツ)	35%	8,400	7.3	980	7.1

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2013/12期:1US\$ = 97.65 円 2014/12期予想:1US\$ = 100.00円

※3 為替レート 2013/12期:1€ = 129.68 円 2014/12期予想:1€ = 135.00 円

※4 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

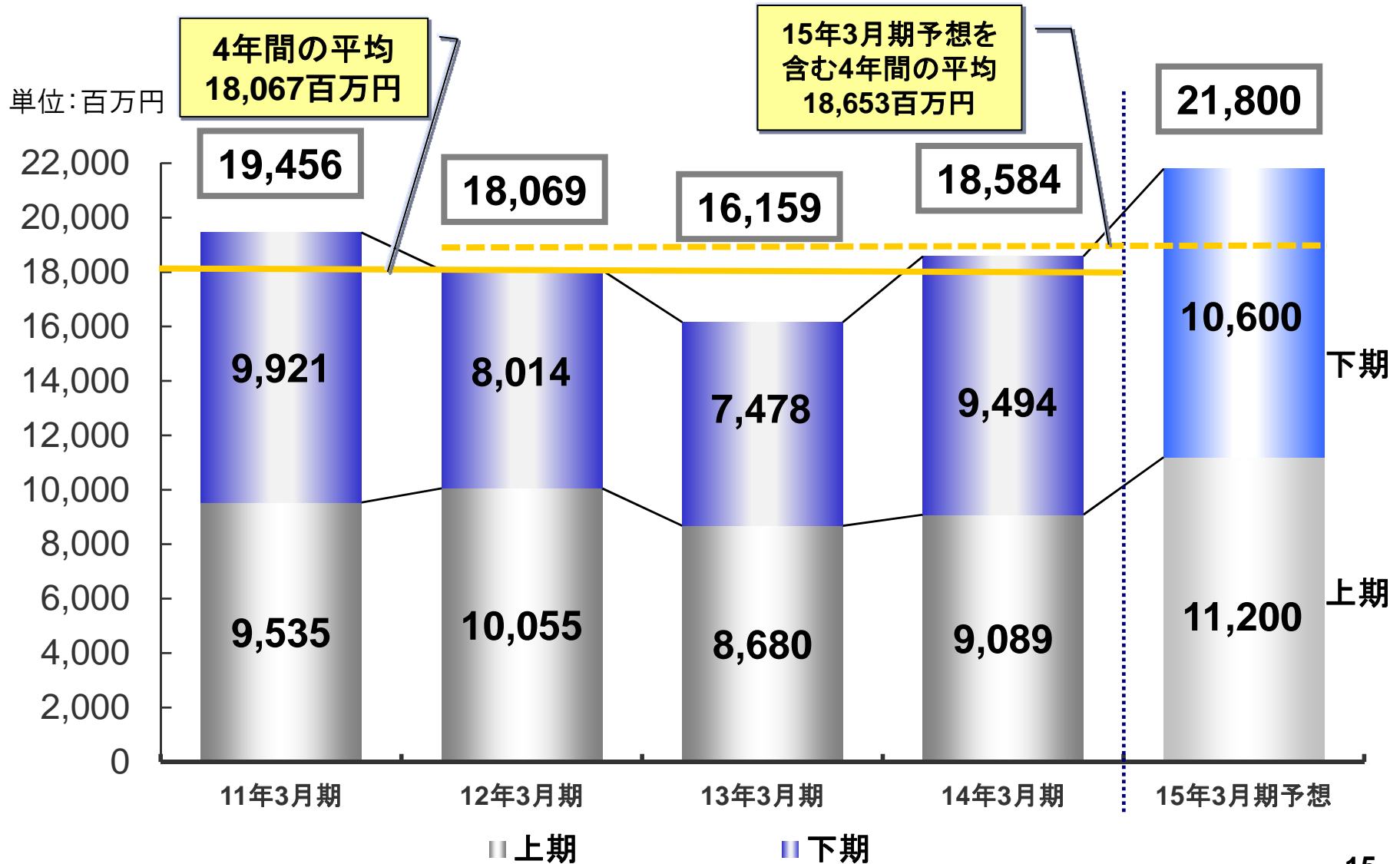
2015年3月期 単体業績予想

単位:百万円

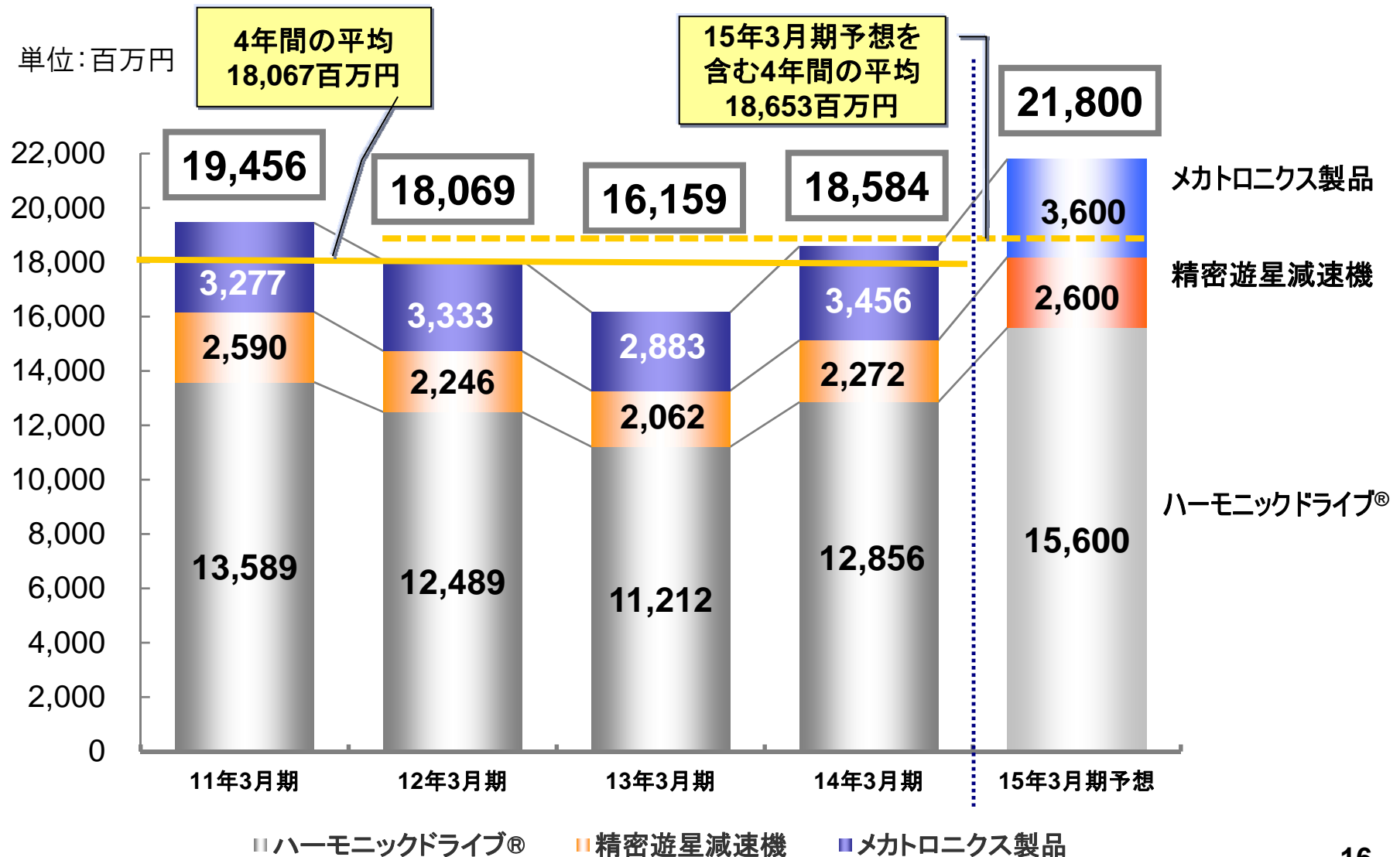
	14年3月期		15年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	18,584	100.0	21,800	100.0	3,215	17.3
営業利益	4,180	22.5	5,750	26.4	1,569	37.6
経常利益	4,375	23.5	6,050	27.8	1,674	38.3
当期純利益	2,792	15.0	3,880	17.8	1,087	38.9
EPS(円)	91.46	—	127.08	—	35.61	38.9
設備投資額	617	—	940	—	322	52.3
減価償却費	712	—	750	—	37	5.3
研究開発費	1,224	—	1,330	—	105	8.6

※15年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥ 100.00 1€ = ¥135.00

単体売上高の推移

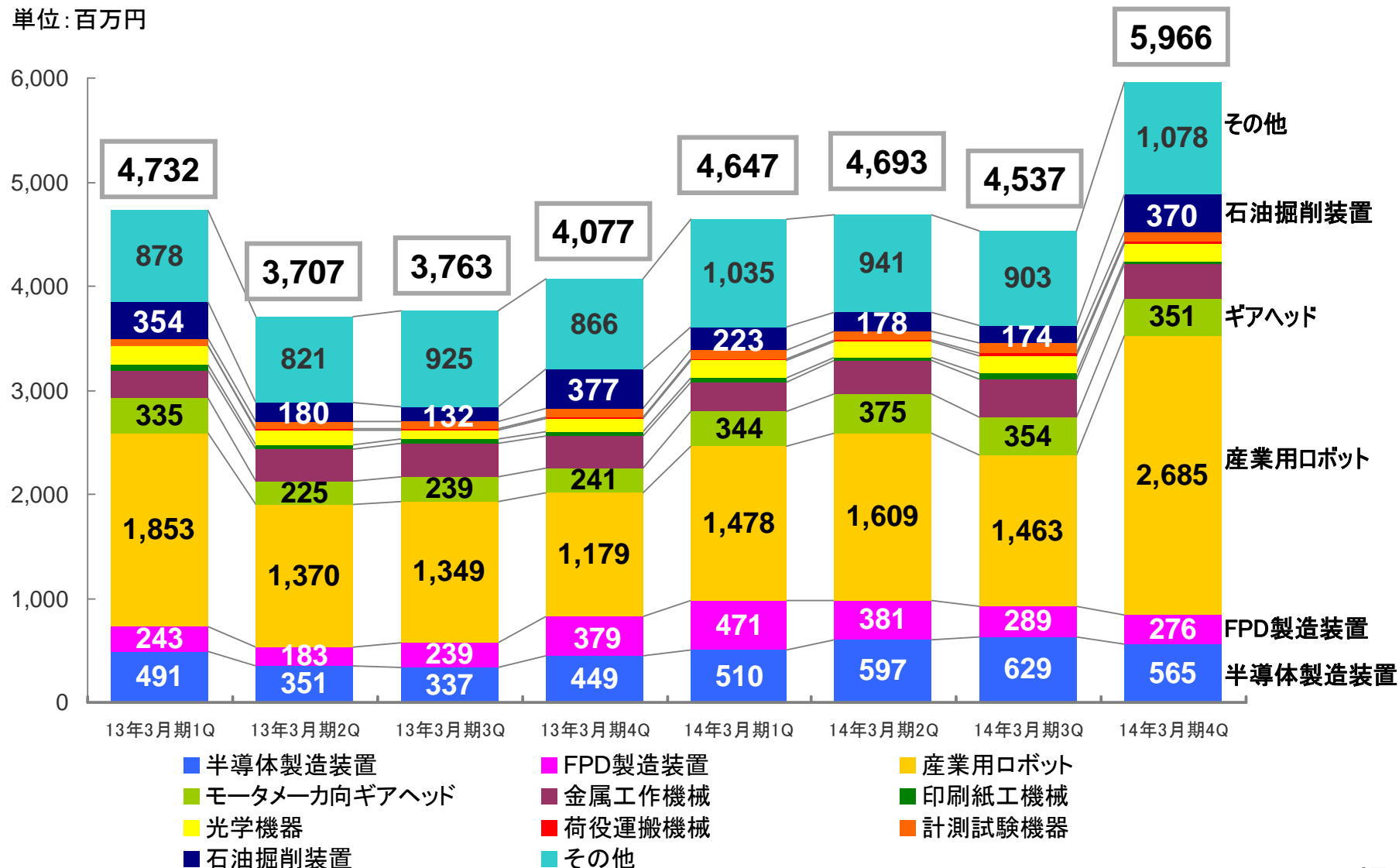


単体製品群別売上高の推移

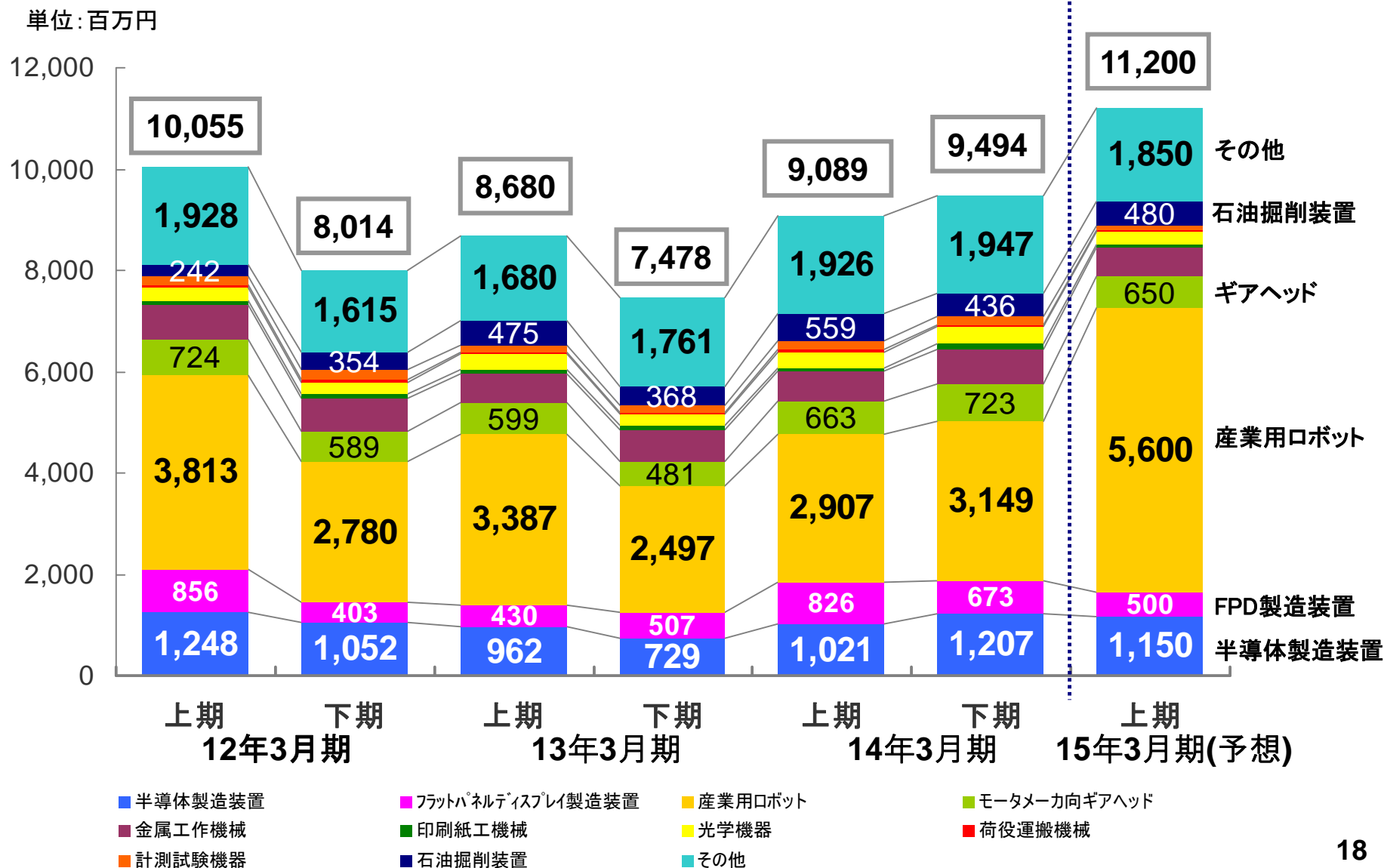


単体用途別「受注高」【四半期】

単位: 百万円

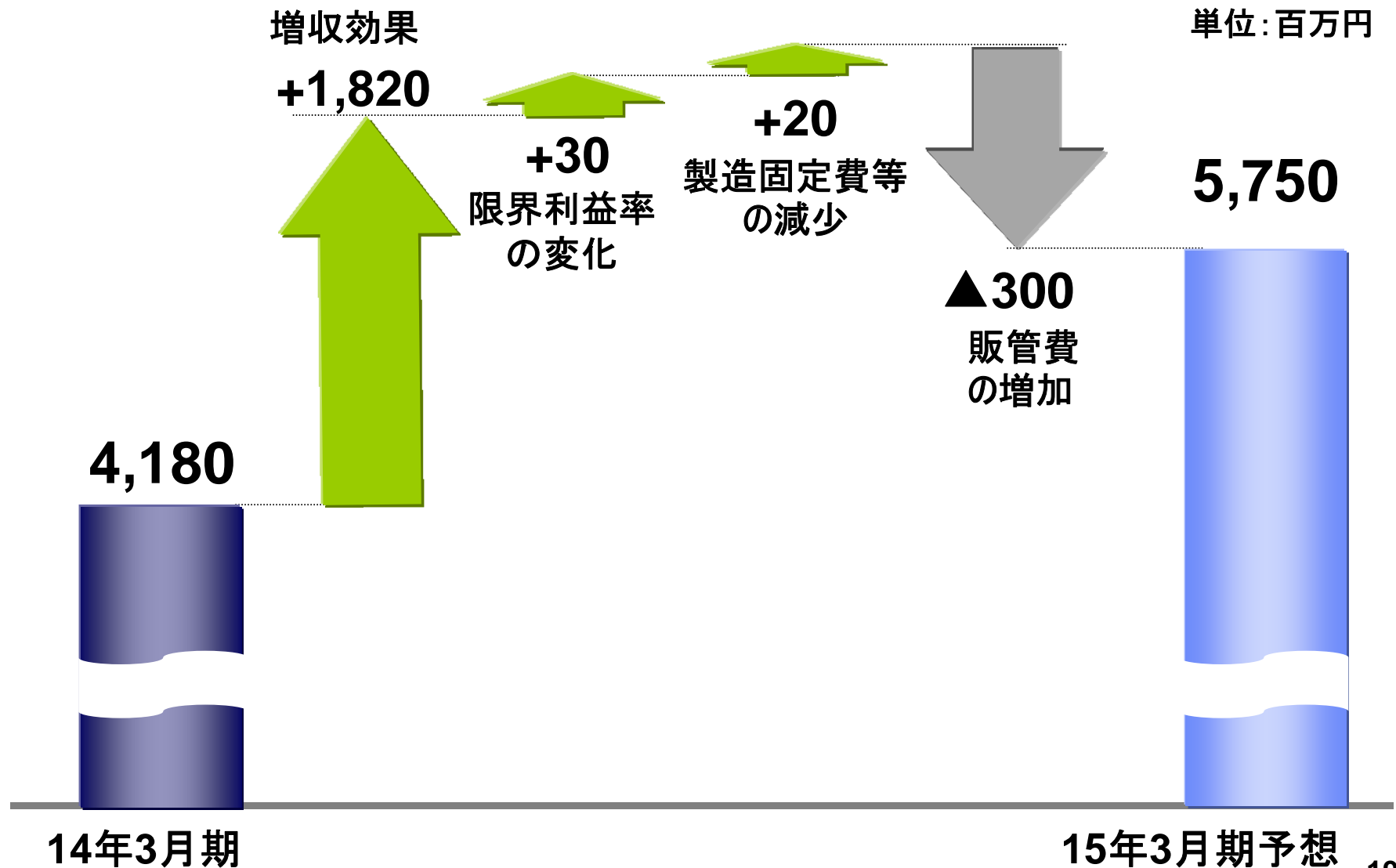


単体用途別「売上高」【半期】



2015年3月期予想

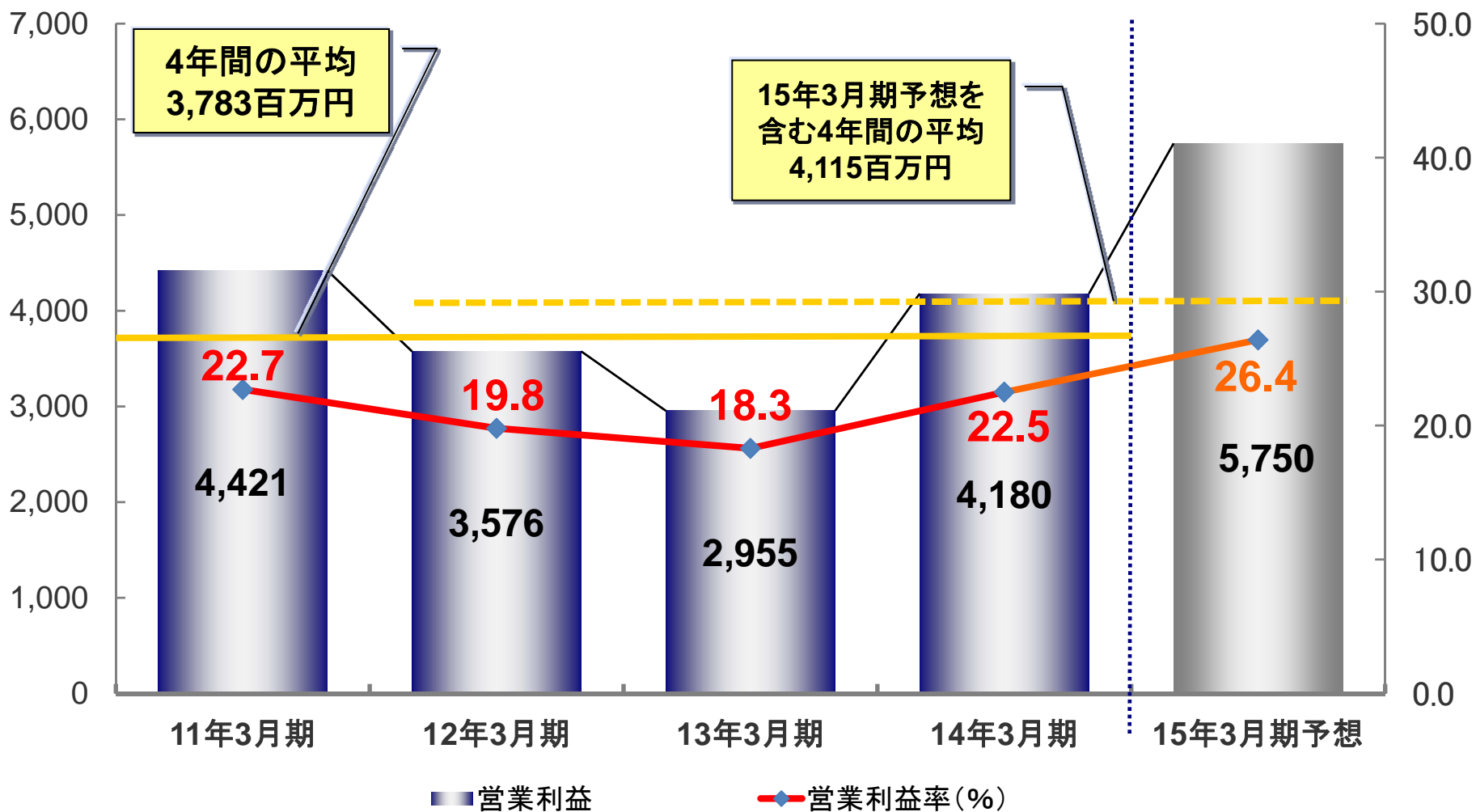
単体営業利益 対前期比増減要因



単体営業利益の推移

単位:百万円

単位:%





今後の展望

ロボットの新しいトレンドと 当社グループの優位性

ロボットの高度化と活用範囲の拡大

1980年代 「防護柵内での工程」への導入・普及

第1：自動車生産工場へ

- 1962年：米国ユニメーション社が産業用ロボットを商業化
- 1968年：油圧サーボロボットの国産化
- 1973年：電動多関節ロボットの開発

2010年代 「人間と協働作業工程」への普及が加速

第2：情報通信機器生産工場へ

- ・スマホの爆発的な普及
- ・アジア圏の人件費急騰、中間層拡大
- ・コスト低減だけではない、品質向上投資の拡大

20××年代 「生活空間」への導入・普及

第3：非工業分野へ

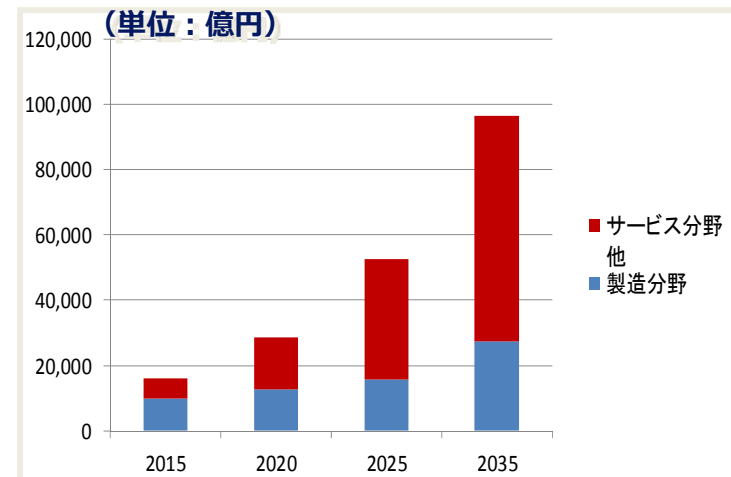
- 1996年：自立2足歩行型ロボットの開発（ホンダ社 アシモ）
- 2013年：日本再興戦略「ロボット介護機器開発5カ年計画」
- 2013年：Google社ほか、ロボット事業に進出

ロボット産業の分類

分類		用途	減速機への要求
I.産業用ロボット		製造現場でものづくりを行う	高精度、高信頼性
II.サービスロボット	プロフェッショナルロボット	医療、介護、リハビリ、流通、資源採掘	多様なニーズ
	コンシューマーロボット	家電、ホビー、玩具	Low Cost

出所：IFR，KDDI RESEARCH INSTITUTE

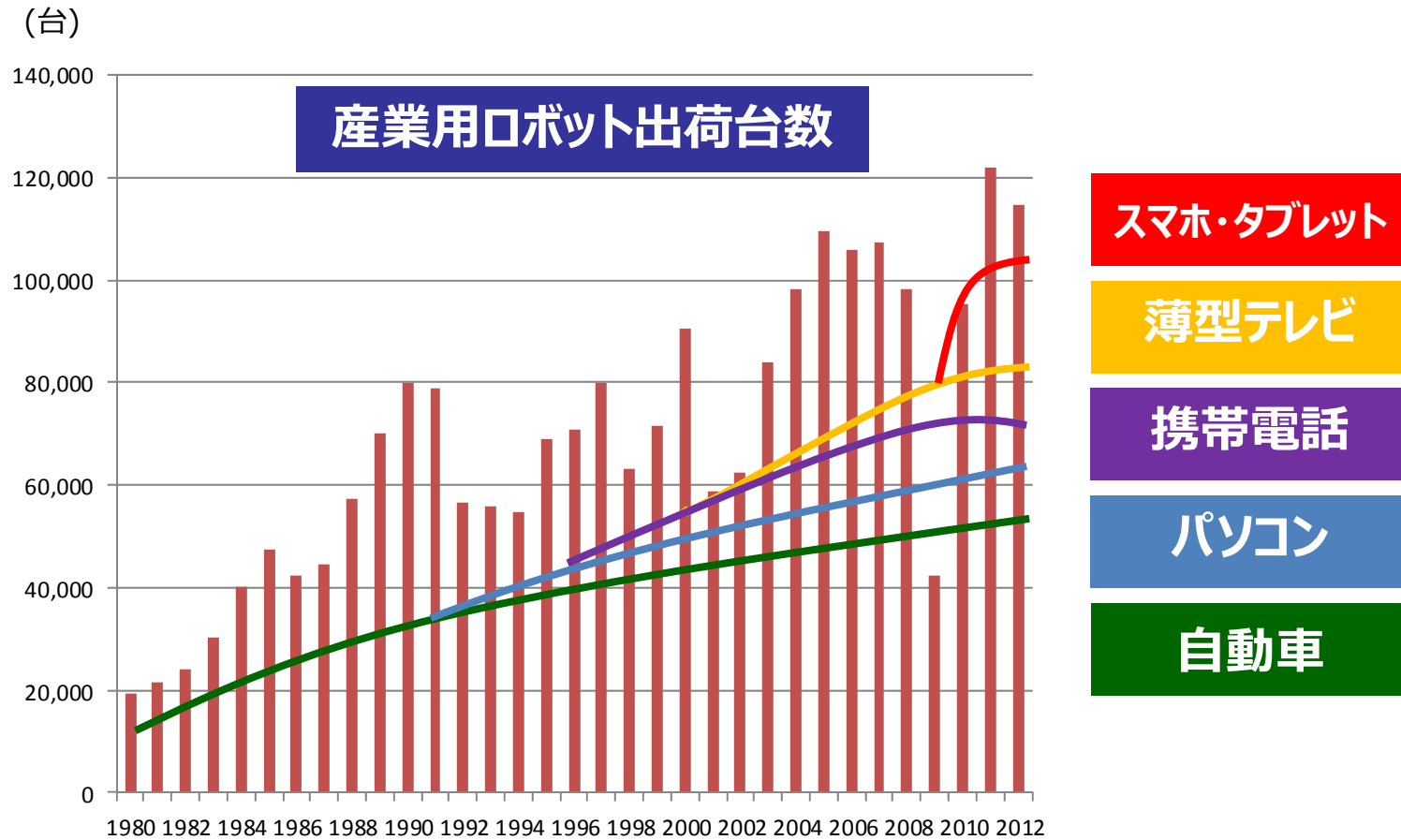
様々な国、企業、研究機関が
ロボット産業の拡大に期待を寄
せている



経産省・NEDO 平成22年度ロボット産業将来市場調査

産業用ロボット市場の成長推移

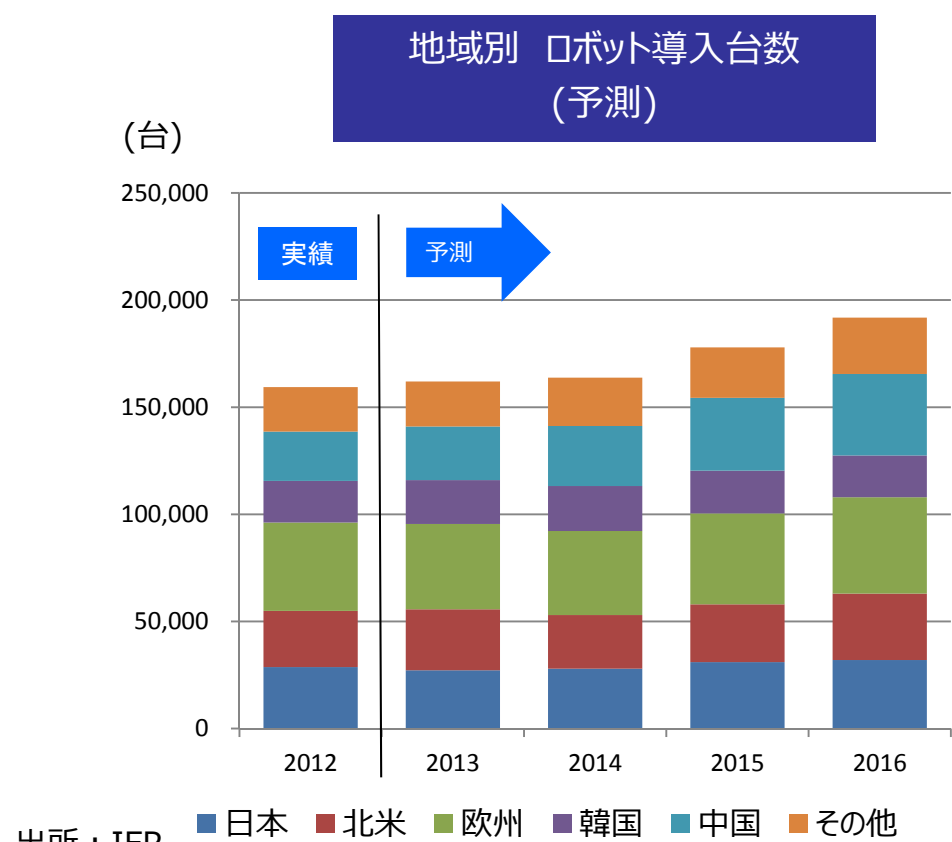
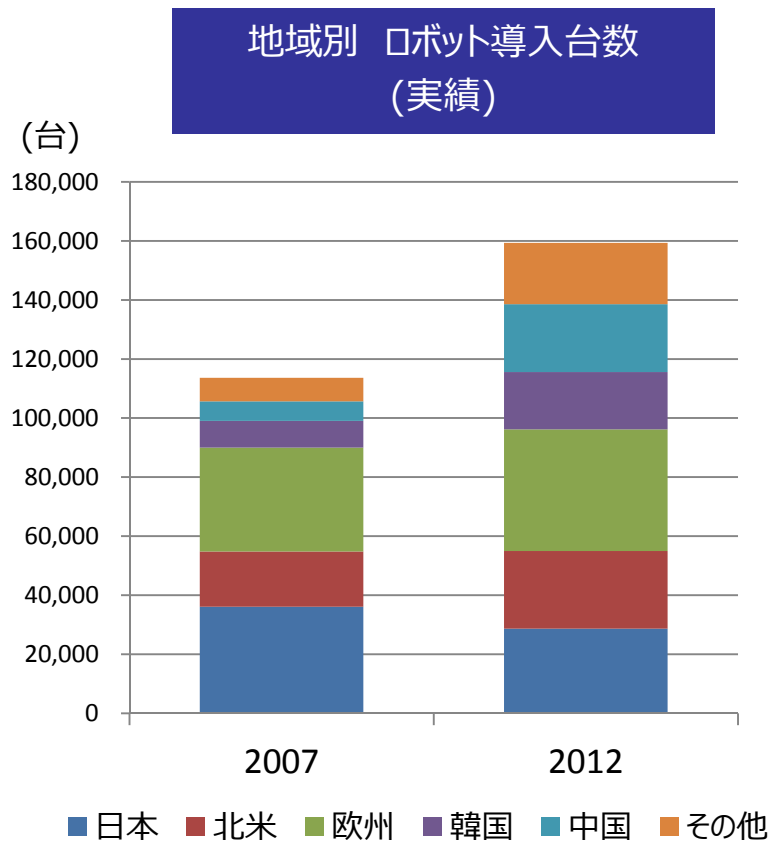
ライフスタイルに大きな影響を与える機器の出現と成長が
産業用ロボットの需要をけん引



出所：日本ロボット工業会


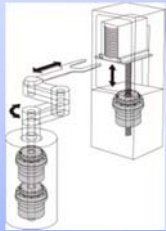

産業用ロボット市場の成長

中国、韓国、その他の地域でロボット導入が加速
 ～品質向上、人件費上昇、労務管理コスト削減～



出所：IFR

産業用ロボットの用途

産業	主な工程	ロボットの特徴	イメージ図
自動車	溶接工程 塗装工程 搬送工程	広い動作範囲と大きな可搬重量を求められることが多く、ロボットは中型・大型タイプが多い	
半導体	搬送工程	搬送物は軽量なもの（ウェハーなど）が多く、ロボットは小型タイプが多い	
デジタル機器 スマホ タブレット	治具交換 組立工程 検査工程 搬送工程	搬送物は軽量なもの（スマホ・タブレットなど）が多く、ロボットは小型・中型タイプが多い	

■ 品質向上・安定化ニーズと人件費の上昇

新興国の製造現場で需要増加

■ ロボット技術の高度化と安全規格の改正

人しかできなかった組立作業を器用にこなしたり、人と同一空間で協働するロボットに期待

サービスロボット

分類	用途	減速機への要求	
Ⅱ. サービスロボット	プロフェッショナル ロボット	医療、介護、リハビリ、 流通、資源採掘	多様なニーズ
	コンシューマー ロボット	家電、ホビー、玩具	Low Cost

出所: IFR, KDDI RESEARCH INSTITUTE

東京大学
超高速多指ハンドシステム

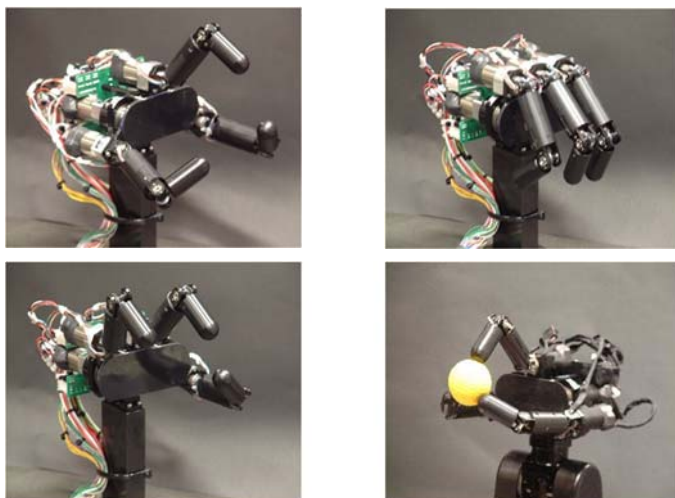


写真: 東京大学 石川研究室様 提供

信州大学
歩行介助ロボットスーツ



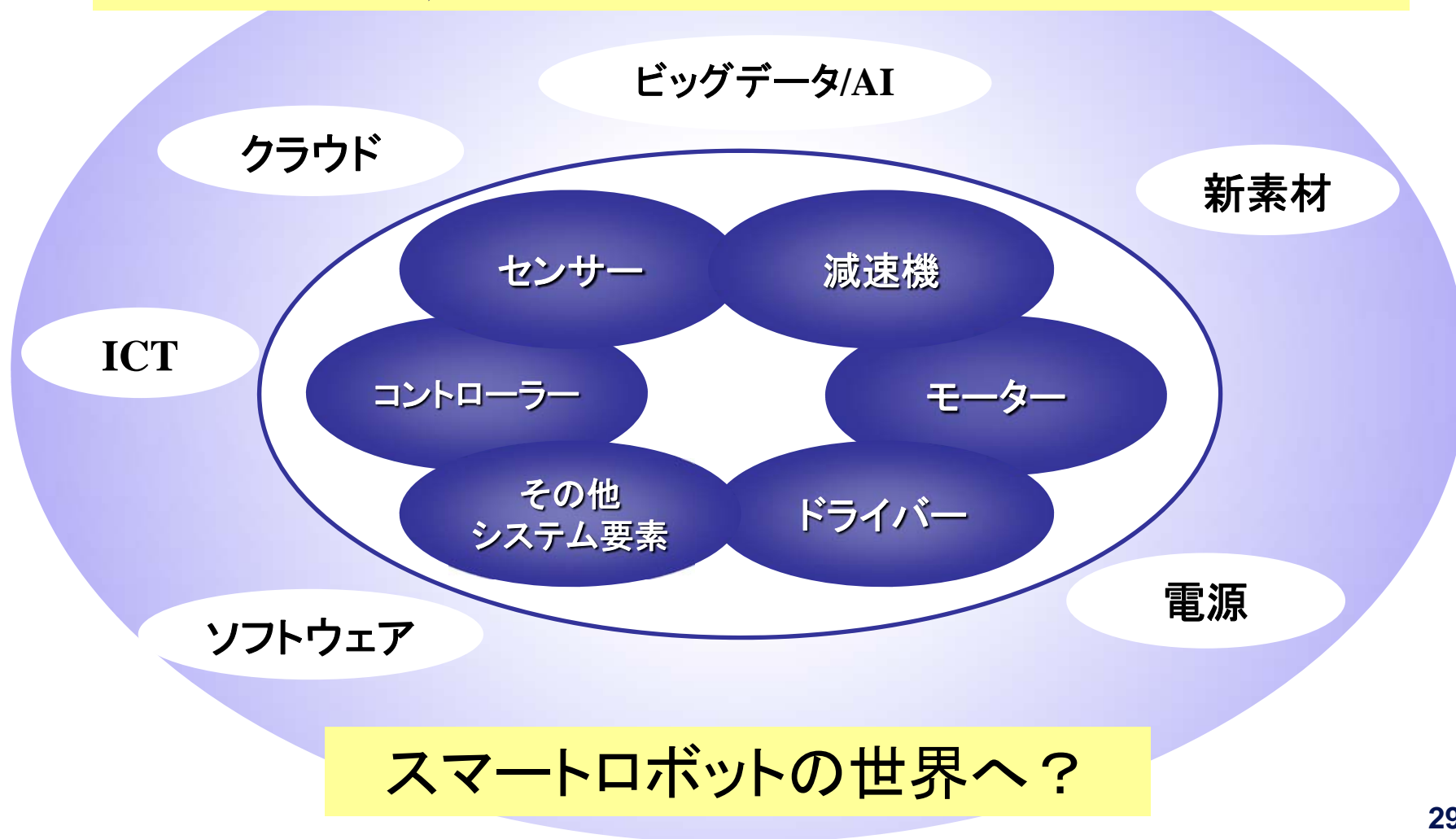
2013年9月21日信濃毎日新聞

トータル・モーション・コントロール

当社グループの
事業領域



「トータル・モーション・コントロール」という価値の提供



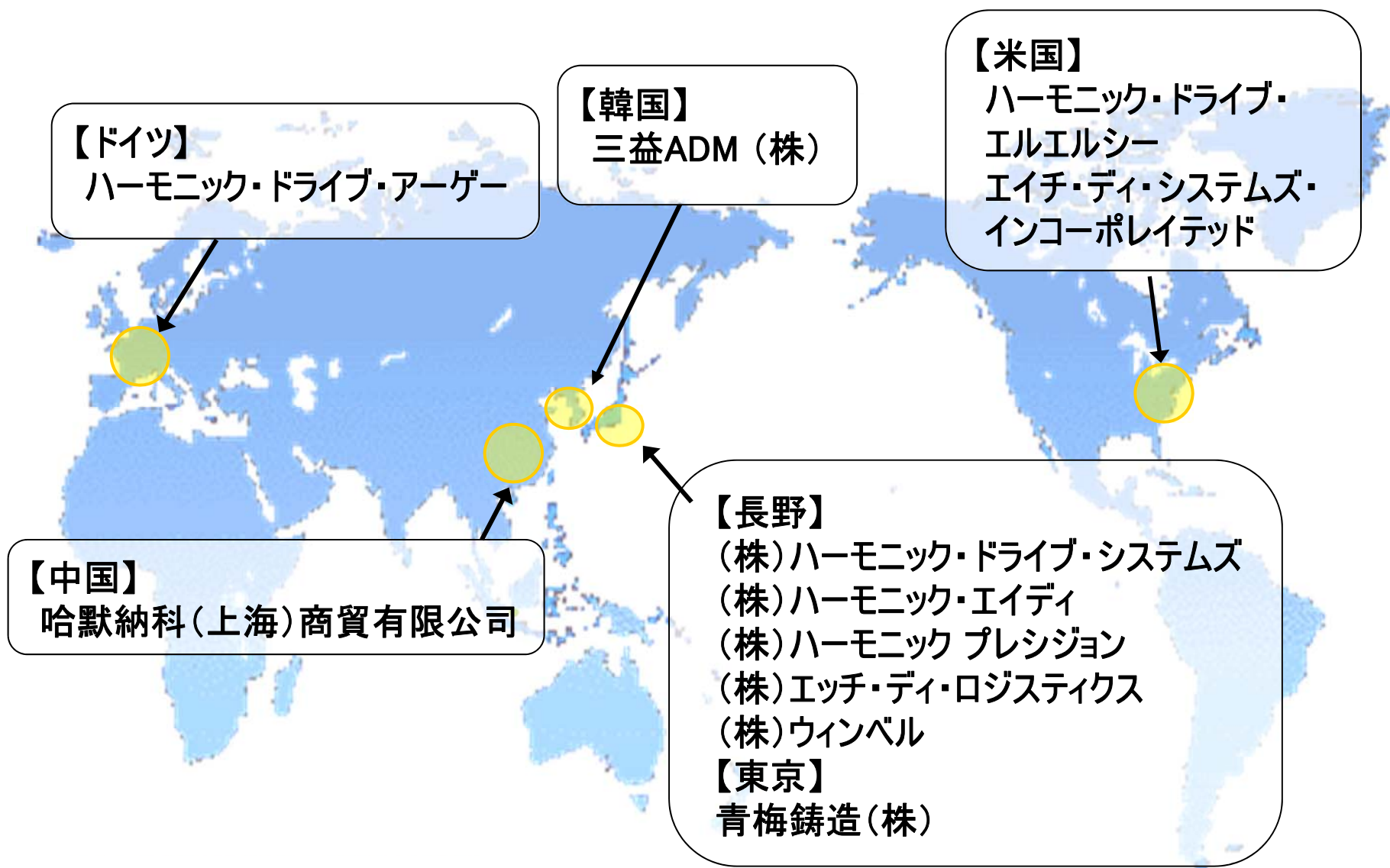
次期中期経営計画・長期ビジョン ～創立50周年に向けて～

今後の革新的な用途拡大への対応力強化

トータル・モーション・コントロールの 高度化を追求

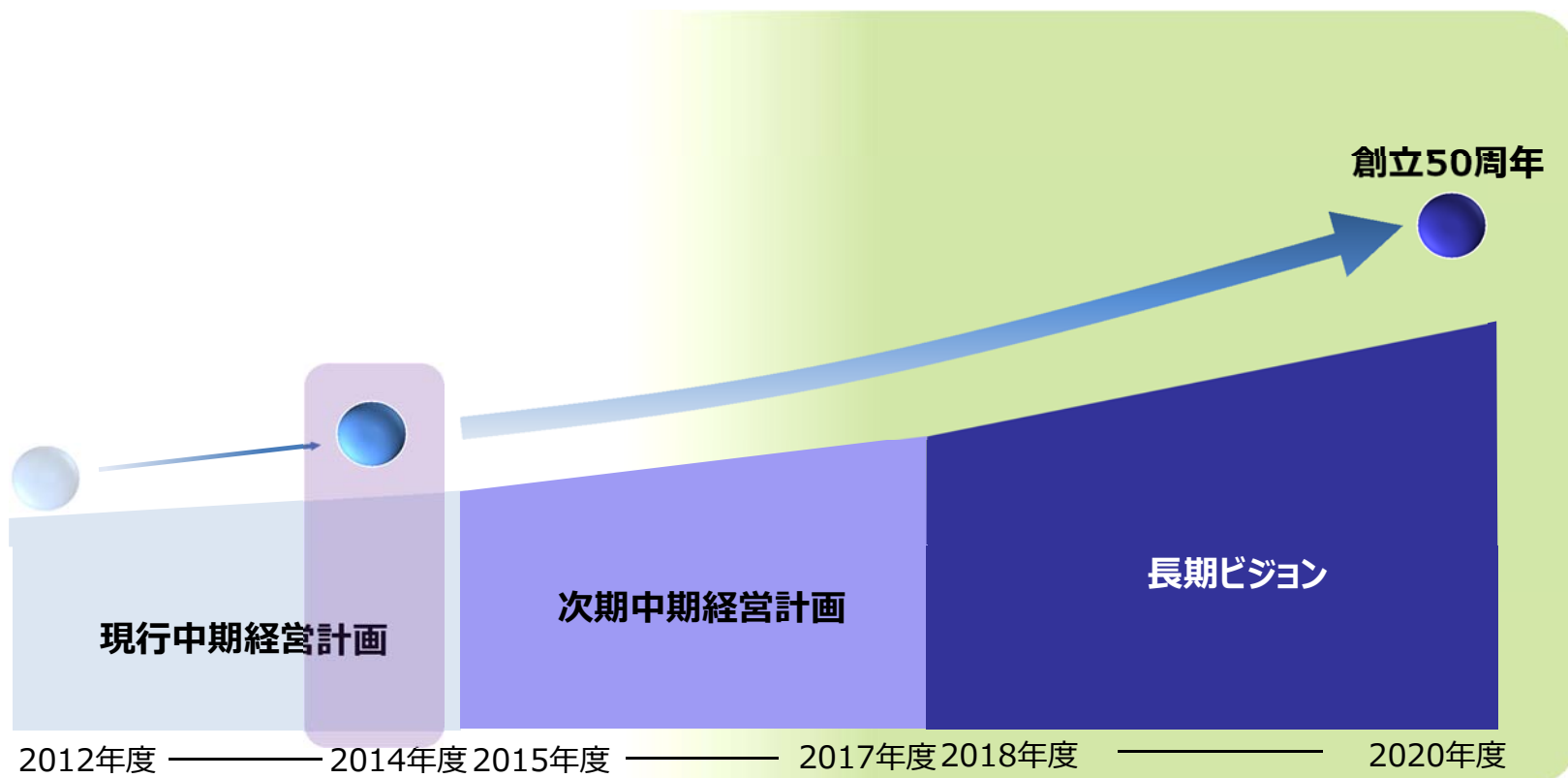
1. 精密減速機の総合的な競争力引き上げ
2. 次世代ロボット、ビークル等革新的分野へのマーケティング強化
3. 「技術と技能」のスパイラルアップでものづくり力向上
4. 新技術に果敢に挑戦する研究開発風土の醸成
5. 国際化の推進

国際化の推進



成長のイメージ

新たな成長ステージに向けて



お問い合わせ

掲載内容、投資家情報全般についてのお問い合わせは

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 経営企画・財務部

〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3 ビリーヴ大森7階

TEL.03-5471-7810 9:00～17:30(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)

E-mail : ir@hds.co.jp URL <https://www.hds.co.jp/>

本資料に記載されている業績目標等の数値は、いずれも当社グループが資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。